

資料2 伊豆の国市の歴史変遷（年表）

時代		日本の主な出来事	伊豆の国市の主な出来事
原始	旧石器時代	・35000年前～13000年前 氷期と間氷期がくりかえされるなかで、日本列島に人類が移住してくる。	・狩野川東岸の段丘上(30～50m)や丘陵地帯(標高200～300m)などで、八丁平遺跡、笹子遺跡、二之沢遺跡、湯ヶ洞山遺跡等の遺跡が発見される。
	縄文時代	・13000年前～2300年前 氷河期が終わり、気候が暖かくなり、土器が作られるようになる。	・仲道A遺跡から県内で初めて草創期の土器が発見される。 ・早・前期の遺跡は丘陵地帯から多く発見(大平A・B・C遺跡、上ノ田遺跡、茅野B遺跡等)されており、定住化の兆しが認められる。 ・中期になると定住化が進み、狩野川東岸の段丘上や丘陵地帯に仲道A遺跡や向原遺跡、上西ノ窪A遺跡、等多くの遺跡が発見されている。 ・後期から晩期の遺跡は段遺跡、南原遺跡、上ノ田遺跡、神崎遺跡等があるが、数は少なく、人々の活動は停滞していた。
	弥生時代	・約2300年前 九州北部で稲作農耕が始まる。 ・239年 邪馬台国の卑弥呼、魏の国に朝貢し「親魏倭王」の称号を贈られる。	・中期後半(約1900年前) 稲作技術が伊豆中央部にも伝わり、田方平野でも蛭ヶ島遺跡周辺で米づくりが始まる。 ・後期(約1800年前) 田方平野周辺の平地や低地に集落ができ米づくりが盛んとなる(山木遺跡、神崎遺跡、宮下遺跡、堀之上遺跡、湯ヶ洞山遺跡等)。 ・段遺跡から近畿式銅鐸の飾耳片が出土した。
古代	古墳時代	・248年 卑弥呼が死に、直径百余歩の大きな塚が造られる。 ・593年 聖徳太子摂政となる。 ・6世紀～7世紀初 この頃伊豆国造が大和王権から任命される。 ・大化元年(645) 大化の改新 ・天武9年(680) 駿河国から2郡を分け、伊豆国を分置する。 ・大宝元年(701) 大宝令公布。この頃伊豆国は田方、那賀、賀茂の3郡となる。	・5世紀後半 多田大塚古墳群が造られる。4号墳は県内最古の馬具轡や、短甲等・鏡が出土。6号墳は馬や武人の埴輪が出土。 ・6世紀～7世紀初 駒形古墳(前方後円墳)が造られる。人物埴輪等が出土した。 ・7世紀後半 この地域にも仏教が伝わり白鳳寺院(宗光寺)が建立される。 ・7世紀中～8世紀前 北江間地区に多数の横穴墓(史跡北江間横穴群)が造られる。 ・7世紀後～9世紀前 花坂古窯群址等で伊豆国分寺や周辺寺院で使う瓦や土器が焼かれる一部の土器が焼かれる。一部の土器当時の都である平城京・長岡京などに運ばれた。 ・7世紀末～8世紀前 仏教伝播とともに火葬が始まる。大北横穴群から「若舎人」と刻まれた石櫃をはじめ、火葬骨を入れた石櫃が数多く発見される。
	奈良時代	・和銅3年(710) 平城京(奈良市)に遷都 ・神亀元年(724) 伊豆、安房等6カ国が遠島の地となる。 ・天平勝宝2年(750) 大仏建立の詔(奈良大仏作られる)。 ・天応元年(781) 富士山が噴火する。	・天平勝宝7年(754) 依馬郷にいた委文連大川が調として「緋狭純」を京進する。

資料2

時代		日本の主な出来事	伊豆の国市の主な出来事
古代	平安時代	<ul style="list-style-type: none"> 延暦13年(794) 平安京(京都市)に遷都 延暦19年～21年(800～802) 富士山が噴火する(延暦大噴火)。 承和7年(840) 駿河国駿河郡の氷蔵駅家を伊豆国田方郡へ還す。 貞観6年～8年(864～866) 富士山が噴火する(貞観大噴火)。 貞観8年(866) 大納言の伴善男が伊豆国に配流される。 承平5年(935) 平将門の乱始まる。 天慶2年(939) 平将門、弟将武を伊豆国の守に私任した。 治承4年(1180) 8月源頼朝、鎌倉に入る。 同10月 頼朝、富士川の戦いで平氏を破る。 同12月 頼朝、鎌倉に居を移す。 文治元年(1185) 平氏、壇ノ浦で滅亡する。 文治5年(1189) 奥州藤原氏が滅亡した。 	<ul style="list-style-type: none"> 延長8年(930) 『倭名類聚抄』編纂。伊豆の国市の郷名として、茨木(原木)郷・八牧(山木)郷・依馬(江間)郷・天野(天野)郷の記述がある。 永暦元年(1160) 平治の乱、源頼朝、伊豆に配流され、蛭ヶ島に居を構える、と伝えられる。 12世紀後半 北条時政が北条に館を構える。(史跡 北条氏邸跡) 承安3年(1173) 高尾上人文覚、院中の悪言により伊豆に配流され、奈古谷に住む。 治承3年(1179) 平兼隆、官を解かれて伊豆へ配流され、目代となって山木氏を称する。 治承4年(1180)4月 平家追討を命じる以仁王の令旨が頼朝に届く。 同8月 頼朝挙兵。伊豆目代山木兼隆の館を襲う。 文治2年(1186) 北条時政、運慶に依頼し願成就院の仏像を造る。 文治5年(1189) 北条時政、奥州藤原氏征討を祈願して、願成就院を建立する。(史跡 願成就院跡)
	鎌倉時代	<ul style="list-style-type: none"> 建久3年(1192) 頼朝、征夷大將軍となり、鎌倉に幕府を開く。 正治元年(1199) 源頼朝没する(53才)。 建仁3年(1203) 時政・義時親子、將軍頼家を謀殺し、將軍の弟、実朝を擁立。時政、執権となる。 承久3年(1221) 承久の乱。後鳥羽上皇が鎌倉幕府に対し倒幕の兵を挙げるが、北条政子・義時ら幕府軍に鎮圧され、上皇方の公家・武家領地が召し上げられ新補地頭が置かれる。 嘉禄元年(1225) 北条政子没する(69才)。 文永11年(1274) 文永の役(元寇) 弘安4年(1281) 弘安の役(元寇) 	<ul style="list-style-type: none"> 元久2年(1205) 北条義時・政子、父時政を伊豆国北条に引退させる。 建保3年(1215) 北条時政、伊豆国北条館で没する。 北条義時、願成就院に南新御堂を建立する。 貞応元年(1222) 願成就院が定額寺(官寺)となる。 嘉禄元年(1225)4月 古奈温泉に將軍藤原頼経が湯治に来る計画が、鎌倉鶴岡八幡宮の怪異により中止となる。 嘉禎2年(1236) 北条泰時、願成就院北に塔を建立する。

時代	日本の主な出来事	伊豆の国市の主な出来事
中世	鎌倉時代	<ul style="list-style-type: none"> 元弘3年(1333) 鎌倉幕府滅亡。後醍醐天皇による建武の新政始まる。 同 足利尊氏、鎌倉幕府倒幕の勲章として上杉憲房に奈古谷郷地頭職を給付する。
	室町時代	<ul style="list-style-type: none"> 暦応元年(1338) 足利尊氏、室町幕府の将軍となる。 正平7年(1352) 畠山国清、伊豆国守護となる。 正平8年(1353) 畠山国清、鎌倉府の関東執事に任命される。 応永4年(1397) 足利義満、金閣寺を建てる。 応仁元年(1467) 京都を中心に応仁の乱が起こる(～1477)。 応仁2年(1486) 足利義政、銀閣寺を建てる。 康永元年(1342) 上杉憲顕、菩提寺となる国清寺を建立する。 貞和元年(1345) 円成尼没。その後、山内上杉氏の女性たちが尼として円成寺に入る。 康暦2年(1380) 国清寺、禅宗寺院の五山十刹の準十刹となる。 応永23年(1416) 犬懸上杉禅秀、鎌倉公方足利持氏に反乱。禅秀方、国清寺を攻め、奈古谷合戦となる。 永享10年(1438) 鎌倉公方足利持氏と関東管領上杉憲実衝突(永享の乱)。上杉憲実、かつての主人足利持氏を弔うため国清寺に籠居する。 長禄2年(1458) 足利政知、新たな関東公方として下向。葦山に御所を構える(堀越公方)。(史跡 伝堀越御所跡) 寛正6年(1465) 円成寺より、将軍義政に御器と海苔が献上される。 延徳3年(1491) 堀越公方、足利政知、没(57才)
	戦国時代	<ul style="list-style-type: none"> 明応4年(1495) 宗瑞、小田原城を攻略し、関東支配の中心とする。 2代氏綱が本拠を小田原城に移す 天文12年(1543) 種子島に鉄砲が伝来する。 天文23年(1554) 甲相駿(武田・北条・今川)三国同盟締結 永禄3年(1560) 桶狭間で今川義元戦死する。今川・武田・北条の3国のバランスが崩れる。 永禄11年(1568) 三国同盟破綻。家康は今川領遠江に侵攻する。 永禄12年(1569) 今川氏真、掛川城において家康に降伏。今川氏滅亡。 天正元年(1573) 足利義昭、信長に降伏し、室町幕府滅亡する。 天正10年(1582) 3月 織田・徳川・北条に攻められ、武田氏滅亡する。 同6月 本能寺の変 織田信長亡くなる。 明応2年(1493) 伊勢宗瑞(北条早雲)、伊豆に進攻、堀越御所を攻める。(堀越御所滅亡)その後、本拠となる葦山城を築く。 永正3年(1506) 宗瑞、葦山城で分国法「伊勢宗瑞十七箇条」を制定したといわれる。 永正16年(1519) 宗瑞、葦山城で没し、修禅寺で葬儀、箱根湯元の早雲寺に葬られる。 永禄12年(1569) 武田信玄、駿河東部・伊豆に進行、葦山城で北条氏規らと合戦に及ぶ。 元亀元年(1570) 武田信玄、葦山城を攻める。 天正8年(1580) 武田氏との駿河湾海戦。北条氏政が葦山城を固く守るよう命ずる。 天正13年(1585) 北条氏、葦山城の大普請を行う。以後、天正18年まで普請が続けられる。

資料2

時代		日本の主な出来事	伊豆の国市の主な出来事
中世	戦国時代	<ul style="list-style-type: none"> ・天正17年（1589）豊臣秀吉、北条氏政・氏直親子に小田原討伐を宣戦布告する。 ・天正18年（1590）7月 小田原城開城。戦国大名としての北条氏は滅亡する。 ・同8月 徳川家康、秀吉の命により関東六カ国へ配置換えとなる。 ・慶長5年（1600）関ヶ原の戦い 	<ul style="list-style-type: none"> ・天正18年（1590）3月 豊臣方の韮山城攻め、始まる。 ・同6月24日 北条氏規、家康のすすめに応じ韮山城を開城する。 ・同8月 内藤信成韮山城主となる（韮山藩1万石成立）。 ・慶長元年（1596）江川英長、韮山代官となる。（史跡 韮山役所跡） ・慶長6年（1601）内藤信成が駿府へ転封する（韮山城廃城・韮山藩なくなる）。
近世	江戸時代	<ul style="list-style-type: none"> ・慶長8年（1603）徳川家康、征夷大將軍となり、江戸幕府を開く。 ・寛永16年（1639）鎖国令 ・寛永19年（1642）伊奈忠公が三島代官に就任し、三島代官と韮山代官による伊豆支配が確立した。 ・元禄11年（1698）「元禄地方直し」政策によって、伊豆国に旗本領が増える。 ・宝永4年（1707）富士山の南東側が噴火し、3つの宝永火口ができる。 ・寛保2年（1742）下田街道に人馬の継立場が置かれた記事が残る。 ・嘉永6年（1853）ペリー来航する。品川台場着工。 ・安政元年（1854）日米和親条約締結、下田と箱館（函館）開港。 ・同 ロシア使節プチャーチン率いるロシア極東艦隊、安政東海大地震の津波にあい下田港停泊中の旗艦ディアナ号が損傷を受け、後に沈没。江川英龍、戸田において船員帰還用の洋式帆船（ヘダ号）建造の指揮をとる。 ・慶応3年（1867）大政奉還・王政復古、徳川幕府滅ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元和6年（1620）北条地区の水不足解消のため、欠指堤を築き、賀茂川（韮山古川）から水を引き入れ溜池とし、北条・原木に用水を供給。 ・明暦元年（1655）天野前の狩野川に堰（江間堰）を築き、用水を開削し北江間に水を引く。 ・天保6年（1835）江川英龍（坦庵）、韮山代官となる。 ・天保13年（1842）江川坦庵、韮山塾を開き、佐久間象山をはじめ全国からの入門者に西洋砲術を伝授。 ・嘉永6年（1853）江川英龍反射炉築造の命令を受ける。 ・安政元年（1854）田方郡中村にて韮山反射炉起工。 ・安政2年（1855）江川英龍没 ・安政4年（1857）韮山反射炉竣工する。（史跡 韮山反射炉）
近代	明治時代	<ul style="list-style-type: none"> ・明治22年（1889）大日本帝国憲法発布 市制・町村制施行 ・明治31年（1898）豆相鉄道、三島－南条間に軽便鉄道開通。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治元年（1868）韮山県成立、韮山に韮山県庁を設置、江川英武県知事となる。 ・明治4年（1871）廃藩置県・韮山県廃止、足柄県成立（旧韮山県庁に支所が置かれる）。 ・明治9年（1876）足柄県廃止・静岡県成立（旧足柄県韮山支所に支庁が置かれる）。 ・明治12年（1879）郡制施行により韮山支庁廃止される。 ・明治24年（1888）古奈温泉、全国温泉番付東前頭10枚目に位置し、伊豆では修善寺、熱海につぐ知名度を誇る。

時代	日本の主な出来事	伊豆の国市の主な出来事
近代	<ul style="list-style-type: none"> ・明治32年（1899） 豆相鉄道、三島－大仁間に鉄道敷設 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治40年（1907） 長岡温泉が内田賢之助、山下甚平らによって発見、開発される。 ・明治41年（1908） 葦山反射炉保勝会が設立される。反射炉周辺の土地を陸軍に寄付。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大正5年（1916） 下田鉄道、下田－大仁間に米国製乗合バス運行 ・大正13年（1924） 駿豆鉄道、大仁－修善寺間開通 	<ul style="list-style-type: none"> ・大正5年（1916） 葦山名勝旧跡保存会が設立される。 ・大正8年（1919） 大仁の間宮勝三郎が加減算機等を製造する間宮堂を設立（現東芝テック）。 ・大正8年（1919） 願成就院の木造阿弥陀如来坐像が重要文化財となる。 ・大正9年（1920） 大仁の脇田信吾が東洋醸造を設立。（その後旭化成と合併） ・大正11年（1922） 葦山反射炉が国指定史跡となる。
現代	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和5年（1930）11月 北伊豆地震発生する。 ・昭和20年（1945） 太平洋戦争終戦 ・昭和21年（1946） 日本国憲法公布 ・昭和39年（1964） 東京オリンピックが開催される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和2年（1927） 高井治兵衛が奈古谷に別荘を建てる。（中川家住宅） ・昭和4年（1929） 岩崎久彌が古奈に別荘を建てる。（三養荘） ・昭和5年（1930）3月 葦山反射炉が文部省の所管となる。 ・昭和9年（1934） 伊豆長岡町が誕生する。地震動の擦痕が国指定天然記念物となる。 ・昭和15年（1940） 大仁町が誕生する。 ・昭和23年（1948） 葦山高校バレーボール部、インターハイで連続優勝する（昭和26年度まで）。 ・昭和25年（1950） 葦山高校野球部、全国選抜高校野球大会で優勝する。 ・昭和32年（1957） 葦山反射炉保存修理、耐震用鉄骨トラスが設置される。 ・昭和33年（1958） 狩野川台風。狩野川が氾濫し大被害をける。 ・昭和33年（1958） 江川家住宅が重要文化財となる。 ・昭和37年（1962） 葦山町が誕生する。 ・昭和40年（1965） 狩野川放水路が完成する。 ・昭和41年（1966） 山木遺跡出土の生産・生活用具が重要有形民俗文化財となる。 ・昭和48年（1973） 願成就院跡、国指定史跡となる。 ・昭和50年（1975） 願成就院の木造不動明王及び二童子立像、木造毘沙門天立像、重要文化財となる。 ・昭和51年（1976） 大師山横穴群、国指定史跡となる。 ・昭和59年（1984） 伝堀越御所跡、国指定史跡となる。 ・昭和59年（1984） 大師山横穴群、大北横穴群を追加指定され、名称を北江間横穴群と改める。 ・昭和60年（1985） 葦山反射炉修理事業起工式

資料2

時代	日本の主な出来事	伊豆の国市の主な出来事
		<ul style="list-style-type: none"> 昭和62年（1987） 伝堀越御所跡、第1次追加指定となる。
現代	平成時代	<ul style="list-style-type: none"> 平成2年（1990） バブル経済が崩壊する。 平成7年（1995） 阪神淡路大震災発生する。 平成10年（1998） 冬季長野オリンピックが開催される。 平成17年（2005） 大規模国際博覧会「愛・地球博」が開催される。 平成23年（2011） 東日本大震災発生する。 <ul style="list-style-type: none"> 平成5年（1993） 若舎人の刻銘がある附須恵器が重要文化財となる。 平成7年（1995） 韮山高校野球部、全国高等学校野球選手権大会に出場する。 平成8年（1996） 北条氏邸跡が国指定史跡となる。 平成13年（2001） 北条氏邸跡、第1次追加指定となる。 平成16年（2004） 韮山役所跡、国指定史跡となる。 平成17年（2005） 北条氏邸跡、第2次追加指定となる。 平成17年（2005）4月 伊豆長岡町、大仁町、韮山町が合併し、伊豆の国市が誕生する。 平成25年（2013） 願成就院所蔵の運慶作諸仏5軀が国宝となる。 平成25年（2013） 韮山代官江川家関係資料が重要文化財となる。 平成25年（2013） 江川家関係写真が重要文化財となる。 平成26年（2014） 伊豆の国市歴史文化基本構想を策定する。 平成27年（2015） 韮山反射炉が世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産に登録される。 平成29年（2017） 伊豆の国市郷土資料館が移転した。 平成30年（2018） 伊豆の国市歴史的風致維持向上計画が認定される。 平成30年（2018） 山木遺跡の山木遺跡出土の生産・生活用具の収蔵庫が完成する。 平成31年（2019） 韮山代官江川家関係資料の収蔵庫が完成する。
	令和時代	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021） 東京オリンピック・パラリンピックが開催される。